

**ASBJによる時価の算定に関する会計基準の公開草案への対応について**

- 企業会計基準委員会（ASBJ）は、2018年3月以降、IFRS13号「公正価値測定」の内容を取り入れた日本基準の策定に向けて検討を行っており、今月中に公開草案を公表しパブコメを実施する予定と聞いている。新基準の適用で、皆様に影響がある点としては主に2点あると考えている。
- 1点目は、各会員の財務諸表における金融商品の時価の算定方法等が変わり、例えば、時価の算定に際し、第三者から入手した相場価格を利用する場合には、その価格をそのまま利用するのではなく、価格が新基準に従って算定されたものであるかの検証が求められる。また、そのための社内の体制の構築が求められることとなる。
- 2点目は、年金資産の受託業務において、年金資産における時価算定が新基準と整合的なものとなっているかを確認した上で、新基準が時価算定プロセスにどの程度影響するものであるかを検討していただく必要があると考えている。
- 貴協会及び各会員におかれては、新基準に関する公開草案の内容を踏まえ、業界を挙げてパブコメ期間中にご対応いただくよう準備を進めていただきたい。

（以上）